



# 勝間田っ子



http://gakuji.town.shoo.lg.jp/katsumada-es/letters-katsumada-es/

## 勝間田っ子「行動指標」策定!

勝間田小学校では昨年度から、児童の「非認知能力」の育成に取り組んでいます。「非認知能力」については、勝間田小ホームページで、令和2年度「勝間田っ子No.4」をご覧ください。)これまで少しずつではありますが、授業や学校行事を通して、子どもたちの「非認知能力」を高めるための手立てや活動の工夫を行ってきました。その取組をさらに充実させ、より確かなものとしていくため、勝間田っ子「行動指標」を策定しました。学校教育目標である『笑顔いっぱい 勝間田っ子 ~自ら学び、共に伸びる児童の育成~』の具現化を図り、今後児童に「どのような力をつけていくべきか?」「どのような行動が見られたらよいとするのか?」などを教職員でしっかりと話し合いながら、具体的な行動を定めていきました。(下表参照) 今後は、この「行動指標」を一つの規準とし、あらゆる場面で活用を図りながら、学校教育目標の達成に迫っていければと考えています。家庭教育の中でも、ぜひ参考としていただくとありがたいです。



**笑顔いっぱい 勝間田っ子**  
~自ら学び、共に伸びる児童の育成~



自ら学ぶ子ども (対自的な勝間田っ子非認知能力)			共に伸びる子ども (対他的な勝間田っ子非認知能力)		
挑む力 (自信)	高める力 (向上心)	あきらめない力 (根気)	伝え合う力 (意思疎通)	認め合う力 (他者承認)	支え合う力 (協働)
自信を持っていろいろなことに興味を拡げてやってみることで、喜びと達成感を感じることができる。	自分で見つけた目標のために取り組み、次の課題や目標も見つけることができる。	失敗しても気持ちを切り替え、繰り返しあきらめずに最後までやりきることができる。	自分の考えを持ち、相手のことを考えながら伝えたり、聞いたりすることができる。	自分と他者との違いを受け入れるとともに、他者の良い所や成長、頑張りにつづいていくことができる。	周囲の他者たちと仲間意識を持ってつながり、お互いに協力することができる。
【やってみる】	【目標を持つ】	【切り替える】	【考えを伝える】	【受け入れる】	【つながる】
①自分の好きなことに興味を持って、自分からかかわってこうしている。	①自分の得意(長所)と苦手(短所)をわかって、言葉にしている。	①困難にぶつかっても、その困難から逃げずに取り組み続けている。	①自分が考えていることについて、自分から相手に伝えていく。	①自分と相手に同じところや違うところがあることをわかって、言葉にしている。	①子ども間でお互いに名前や性格、特徴などをわかっている。
②初めは興味がなかったことでも、興味を持ち始めてかかわってこうしている。	②自分のやりたいことややりたい人について具体的に書いたり言ったりしている。	②困難にぶつかっても、気持ちを切り替えて前向きに取り組んでいる。	②自分の考えについて根拠を示したり、筋道を立てたりしながら伝えていく。	②自分と相手の違いがわかった上で、その違いにマイナスの言動をしていない。	②子ども間で、お互いに気になったり声をかけたりしている。
③自分にとって苦手なことであっても、失敗を怖れずに進んで取り組んでいる。	③自分ではっきりとした目標を設定して、その目標を書いたり言ったりしている。	③いろいろな場面で、マイナスな言動をせずにプラスの言動をしている。	③相手の考えなども取り入れながら、深めた考えや新しい考えを伝えていく。	③自分と相手の違いがわかった上で、その違いについてプラスの言動をしている。	③子ども間で、お互いに安心感を持って失敗などができていく。
【できたことを喜ぶ】	【目標に向かう】	【やり切る】	【考えを聞く】	【気づく】	【協力する】
①その時々のできた喜びを表情や振る舞い、言葉などで表現している。	①自分が設定した目標についてとにかく行動へ移している。	①決められた時間の中で、課題に対して取り組んでいる。	①相手の考えを相槌などの反応を示しながら、最後まで聞いている。	①現在の相手の良い所に気づき、その良さを言葉にしている。	①子ども集団で、他児たちと同じ目標を共有して一緒に取り組んでいる。
②一定期間取り組んできたことについて、できた喜びを表情や振る舞い、言葉などで表現している。	②自分が設定した目標について着実に計画を立てて行動している。	②決められた時間だけでなく、その課題ができるまで繰り返し取り組んでいる。	②相手の考えのよさや自分の考えとの違いを見つながら聞いている。	②これまでの相手の努力してきた過程や変化にも気づき、それらを言葉にしている。	②子ども集団で、同じ目標に向かって取り組む中で、お互いにサポートし合っている。
③これまでの自分との違いや成長に気づき、そのことを言葉などで表現している。	③自分が設定した目標に向かう中で、新しい課題や目標を発見している。	③課題について見直し、間違いないかなどがあれば何度でもやり直している。	③相手の考えに対して質問や感想を持ちながら聞き、聞いた後は質問や感想を届けている。	③相手のよさ、努力してきた過程や変化を自分のことのように喜んでいる。	③子ども集団で、同じ目標に向かって取り組む中で、お互いの強みを生かしている。

## 児童朝礼での話 ~うれしかったこと~

9月13日(月)の児童朝礼(リモート放送)で、子ども達にした話を紹介します。(前略)

2学期に入って、校長先生はとてうれしく思っていることがいくつかあるのですが、今日は2つ紹介します。一つ目はこの写真(右写真)を見てください。3年生が写っていますが、これは何をしているところか分かるでしょうか?実は、下駄箱のくつがちゃんとそろっているかどうか点検をしてくれている場面の写真です。3年生の係の人が、毎朝点検をしてくれています。点検をしてくれているのは、3年生だけではなく、4年生をはじめ、他の学年の係の人毎朝がんばってくれています。そのおかげで、この写真でもわかるように、全校の下駄箱の靴がとてきれいに揃うようになってきています。ピシッとそろった下駄箱を見ると、本当に気持ちがいいです。とてうれしいです。学級、学年、勝間田小学校全体の人の心が一つに揃っているなあと感じます。これからも、「くつそろえ」を続けてがんばっていきましょう。



うれしかったことの二つ目は、先週、校長先生は何度か運動場で、草取りや落ち葉集めをしていました。休みに時間に行っていると、「先生、ぼくも手伝うけん」「わたし、草取りが好きなんよ」と言って、次々に手伝ってくれる人がいたのです。「休み時間じゃから遊んだらええんよ」と校長先生が言っても、「校長先生一人じゃ、たいへんじゃろ」と言って、遊ばずに手伝ってくれる人がたくさんいました。校長先生は涙が出るほどうれしかったです。また、お昼休みにわざわざ校長室に来てくれて、「これから草取りをするので、道具を借りてもいいですか」と言って自主的に頑張ってくれた高学年の女子グループもいました。校長先生のことを気遣ってくれる心、面倒なことでも自分から進んでやってやろうとする行動力、そんな気持ちや行動が、本当にうれしかったです。ありがとう。これからも、優しい心を持ったお友達がこの勝間田小にどんどん増えていってほしいと思っています。(後略)

## 教育実習生と...

9月半ばから、お二人の教育実習生を受け入れています。田中先生は、岡山大学3回生で、養護教諭になるために本校で2週間、勝央中学校で1週間実習をされる予定です。主に保健室や5年2組で、保健室運営や保健指導の勉強をされています。小淵先生は本校の卒業生で、環太平洋大学の3回生です。教諭になるための実習を約1か月間続けられます。主に1年2組を中心として、様々な教科の学習指導や生徒指導等の勉強をされます。

お二人の若い先生を迎え入れた子どもたちは大喜び。学習時間だけでなく、休憩時間にも一緒に楽しく遊ぶなど、しっかりと交流を深めることができます。短い期間ではありますが、お二人の教育実習生には、教育実習でしか学べない貴重な体験をたくさん積み重ねていただき、近い将来、教員として立派に活躍されることを期待しています。



## 担任交代のお知らせ

9月12日(日)より、4年1組を担当していました岡田芽彩教諭が、出産のため産前休暇に入りました。出産後も産後休暇・育児休業を取得予定のため、4年1組の担任を、大久保仁志教諭へと交代させていただきます。児童をはじめ保護者の皆様には、ご心配やご迷惑をお掛けすることとなりますが、何とぞご理解とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

## たいへんお世話になりました

9月21日(火)~30日(木)は「秋の交通安全県民運動」の期間ということで、保護者の皆様には、児童の登校指導や見守り等、たいへんお世話になりました。今後も児童の安全な登下校のため、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

